

社会新報個人版

岩手県北上市議会議員

佐藤ケイ子

活動報告

No.16の2



# いきいき通信

発行所/社会民主党全国連合機関紙宣伝局

東京都千代田区永田町 1-8-1

佐藤ケイ子後援会 岩手県北上市下江釣子 16-154-3

(0197-64-6520)

## 戦争法案に反対を！

### 集団的自衛権の行使は違憲

6月4日の衆院憲法審査会に招かれた憲法学者3人は、安全保障関連法案に「レッドカード」を突きつけました。

3人は、昨夏の閣議決定で認めた集団的自衛権の行使は「違憲」との見方を示し、憲法改正手続きを無視した形で推し進める安倍政権の手法を批判。また、後方支援を銀行強盗を手伝うことにたとえて、「僕が強盗を車で送迎すれば、一緒に強盗したことになる」と皮肉ったということです。

### 怒る！女性たち

6月20日、安全保障関連法案に反対する女性の集会が国会周辺で開かれ、参加した約1万5000人が怒りを示す赤い服やスカーフをまとい、「人間の鎖」をつくって国会を取り囲みました。

参加者は「戦争させない」と書いたプラカードを掲げるなどしてアピールしましたが、ほとんど報道されませんでした。すでに報道統制されていることも、怒っています。



安倍政権にレッドカードを！

## 岩手県議選に出馬を表明

市議会議員として、5期17年間活動してきましたが、これまで培ってきた経験を活かし、もっと女性の声を県政に届けたいと岩手県議会議員選挙に出馬することを決意しました。

7月3日の記者会見では、後援会長の小原宣良氏も同席し

■子や孫を戦争に駆り出す安保法制に反対していく

■課題が山積している子育て支援や介護の問題等福祉施策について積極的に取り上げていく

■働く者の雇用の確保や労働条件の改善の改善につとめていく

■原発の再稼働は認めない

■TPPに反対する等を訴えました。

北上地区では初めてとなる女性県議をめざして頑張ります。



## 佐藤ケイ子の決意

### 子ども・暮らし・いのち・平和を守る

私は、地域で安心して働き暮らし続けていける社会をめざして、市議会議員として活動してきました。

特にこだわってきたのは、女性が働き続けることに関してです。そのため、保育所の待機児童問題や学童保育所の改善など子育て支援の充実を訴えてきました。

また、介護の問題や医療問題など、数多くの福祉施策について市議会でも取り上げてきました。これからも「子ども・暮らし・いのち・平和を守る」を基本に福祉施策の充実に向け、活動していきたいと思っております。



## 市議会一般質問

企業立地が続き求人が多いが、保育や介護の環境を改善しなければ、女性の就労拡大は厳しいのでは…。



### 平成 26 年 9 月議会

#### 介護保険

**質問** 第5期(平24年度～26年度)介護保険計画の実績見込みと課題は。

**答弁** 平25年度末の要介護認定者数は4,104人でほぼ計画通りの推移。介護給付費は、24年度と25年度合計120億7000万円ほどで、計画比2億8900万円ほど増加。今後は、認知症高齢者の早期対応のため、地域包括支援センターの人員体制や医療機関との連携強化が課題となる。

**質問** 介護保険制度改正による影響と対応は。

**答弁** 自己負担が1割から2割となるのは、約2800人。要支援の「イ・ピ・ス」や「ホームヘルプ」は、新総合事業に移行するが、国基準により29年4月実施を進める。

#### 学校給食センター

**質問** 学校給食への地場産品活用状況は。

**答弁** 平27年度目標40%に対し15.8%と減少。生産者団体との連携と加工品地場産品活用も進める。

**質問** 中央学校給食センターの建設計画は

**答弁** 平27・28年度に用地取得、29年度建設、30年4月に稼働をめざし、年内に建設場所決定、庁内の検討委員会にて整備運営方針を検討する。



### 平成 26 年 12 月議会

#### 子ども子育て支援事業計画

**質問** 保育定員拡大の抜本的対応を。(公私立幼稚園の子ども園化、老朽施設の増改築計画の明確化、新保育園の建設を)

**答弁** 双葉認定子ども園では、1・2歳児40名の保育が開始される。老朽化施設は、子ども子育て支援事業計画や総合計画で、中長期的に必要な改修を行う。新たな保育の設置は、児童数の推移や保育需要、小規模保育事業や認定子ども園等を総合的に判断していく。

**質問** 笠松小学校存続を早期に決断し、横川目保育園幼稚園の整備促進と笠松学童の整備を。

**答弁** 地域づくりと児童の推移を勘案し、和賀地区全体の視点を持ちながら考える必要があり継続協議していく。合意には期間を要するため、トイレ水洗化や笠松小の整備改修を進めている。笠松学童は改善が必要であり、小学校とは別に検討していきたい。

★再質問の中で明らかになったこと

**質問** 今年度予算の飯豊保育園大規模改修の設計



が着手されていないのではないか?

**答弁** 現在地は0歳児保育を拡大するには狭く、場所や運営主体など検討をしている。

★3月議会では、飯豊保育園整備に430万円が計上された。質疑では、移転新築の道路用地取得経費で、飯豊地区交流センターの西側で民間が運営する。運営者を公募するとのことだが…。

#### 子どもの貧困対策

**質問** 準要保護の状況と認定基準の拡大を。

**答弁** 11月1日現在の要保護児童生徒は68人、準要保護は392人である。準要保護の認定基準は生活保護収入基準の1.2倍未満としている。盛岡市と沿岸部は1.3倍、近隣他市は1.2倍となっている。(27年度からは花巻も1.3倍に緩和した。)

**質問** 貧困対策として、中学生までの医療費助成を拡大するべきではないか。

**答弁** 小学生3年生までの一部負担金は、1ヶ月外来1500円・入院5000円で、それを越えた医療費は2～3ヶ月後に還付される。非課税世帯は自己負担無しである。小学3年生までの助成で2000万円の予算だが、小学6年生までだと4000万円、中学生までだと6000万円の財源が必要になる。

★現物給付(医療機関で一部負担金のみ支払い)は、全県で導入にむけ、27年度で県が準備中。



### 平成 27 年 3 月議会(代表質問の関連質問)

**小学校存続** 人口減少問題や定住化政策と小学校存続は大きく影響する。統合計画の見直しを。

**学童保育所新設** 市内で学童保育所が無いのは和賀西小学校区だけである。ニーズに答えて学童保育所の新設を。

### 平成 27 年 6 月議会

#### 市民満足度を高める施策展開を

**市民意識調査の分析** 隔年調査の結果、毎回「道路」「公共交通」の満足度が低く改善がみられない。政策展開に反映させるべき。

**子育て環境の充実** 調査では優先度も改善重要度も高く、市長選の公約にもあるが、特に推進したい項目の明確化を。

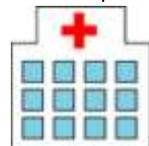
**公共交通体系** 満足度が低く難題であるが、暮らしを支えるため、交通基本法を活かした条例化の検討を。

**道路環境の整備** 除雪体制の改善を。蒲谷地から西方への林崎柳田線の早期整備を。

**高齢者・障がい者の生活支援** 地域包括支援センターの体制充実と増設を。バリアフリー対策の強化を。

#### 北上済生会病院の移転支援を

県立病院跡地を有利に取得するには、市の健康福祉施策の連携が必要では。新病院の隣接地に健康・福祉拠点施設を検討するべきではないか。



## 活動あれこれ

ブログつまみぐい

ホームページやフェイスブックで活動を紹介しています

<http://www.sato2007.com>

### 5月30日 银山温泉へ



江釣子婦人会の移動研修で、银山温泉(山形)に行きました。数年ぶりの银山温泉は、きれいに整備され、外国人観光客も多かったです。コケシの絵付けとコマの絵付けに分かれて体験したあと、古民家風の食堂でおいしい食事を堪能しました。自由行動では、温泉、滝、足湯などそれぞれ楽しみ、リフレッシュしました。

### 5月27日 労働法制改悪反対集会(さくらホール)

連合の全国同時集会が行われ、中央集会のライブ中継もありました。連合花巻北上地区集会では、県議の高橋元さん(民主党)、木村幸弘さん(社民党)の挨拶でした。労働者派遣法、残業代不払い法、戦争法案など、アブナイ内閣の暴走にストップをかけよう! 地域からも声をあげたいです。



### 4月25日 江釣子桜まつり

和賀川グリーンパークで「江釣子桜まつり」が行われました。幼稚園児の踊りや鬼剣舞、清水(すず)巡りウォークもありました。その後の懇親会も盛り上がり、お天気もよくとても良いイベントでした。えぶりんも盛り上げてくれました。



### 2月19日~20日 地方財政セミナー(東京)



講演は5本で、「2015年度予算とアベノミクス」「2015年度税制改正」「2015年度地財計画と地方財政」「地方創生に必要なことは何か」「2014年度普通交付税算定結果の検証」でした。

特に2日目の片山善博氏(元鳥取県知事・慶応大学)の講演、「地方創生に必要な事は何か」については、地方創生が鳴り物入り

で進められているが、この問題は以前からわかっていたこと、全国どこでも試行錯誤やってもうまくいかないものを、今政府がやたらに言い出している意味を考えるべき。「創生」はマユツバものだ。また、「ふるさと納税」の矛盾など、地方の現実を知っている側からの政府批判が混じり、共感する内容でした。

### 2月8日 「いわて女性議員と語る会」(盛岡)

社民党岩手女性局主催(共催:アイ女性会議岩手県本部と平和環境岩手県センター)で、女性議員と語る会を行いました。

今回は、議員の活動報告は短時間で、参加者から多くの発言を頂きました。

民間職場では労働基準法も無視して低賃金不安定雇用の中で働いていること、学校では市町村の財政状況によって施設補修に問題がある事、保育園の待機児童問題や病後児保育の不足、介護と仕事の両立ができない事…が出されました。

安倍首相は女性の活躍…と言うけれど、益々職場が大変になっていることが浮き彫りになりました。参加者のほとんどが改善を求めているとなると、県内、全国規模で考えれば、どんなに多くの女性が改善を求めているのか。もっともっと声をあげていかなければ…と思いました。



### 2月8日 北上市職労第60回自治研究集会

市職労の誇りである「自治研」は、60回目の集会。今回は「元気な地域のつくり方」と題して、コミュニティデザイナーの山崎亮氏が講師。全国での地域活性化プロジェクトを手掛け、講演に飛び回っている講師先生でした。

山崎氏は、「正しい」ことだけでは広まらない。楽しい、美しい、カッコいい、おしゃれ…、そういうものが無ければ面白くない。何が本当の楽しさか、幸福かを考えさせられました。

また、人口減少問題について、人口を増やそうというのは正しいのか、輸入食料に頼り、原発エネルギーに頼っている日本の仕組みは問題がある。まちづくり関わらずに文句ばかり言う市民を増やすのではなく、活動人口を増やしていこうと、話されました。

軽快な口調とともに、次々に出される実践例に興味湧いてくる講演でした。



### 1月27日~28日 議運視察

滋賀県大津市議会視察。2年続けてマニフェスト大賞受賞、通年議会、大学との協定、政策検討会議、ICT化…、大変参考になりました。議場には大スクリーンがあり、資料や議決状況が出るとの事です。

三重県鳥羽市議会視察。ICT化、通年会期制、会改革のモデル議会でした。議員皆さんがタブレットを持ち、議場でもタブレットの映像資料を使った一般質問をしています。



## 北上市議会

### 『国際平和支援法』『平和安全法整備法』の撤回を求める意見書

「憲法改悪阻止北上連絡会」からの「安保法案の徹底審議と国民合意なしに成立させないよう求める請願」を総務常任委員会で審議しました。

委員会では、集团的自衛権行使は憲法違反、戦争に加担するもの、不誠実な国会審議、憲法を変えてから…、様々な意見が出ましたが、請願者の意志を明確にするために、「撤回を求める意見書」に取りまとめて発議することになりました。

本議会では、発議案に賛成と反対の討論があり、22対3の賛成多数で意見書が可決されました。

全国の地方議会からも、戦争法案反対の意見書が上がることを期待したいものです。

### 安全保障関連法案の廃案を訴える 瀬戸内寂聴さん

僧侶で作家の瀬戸内寂聴さん(93)が国会前での安全保障関連法案に反対する集会に参加。自身の戦争体験に触れながら、「最近の状況は戦争にどんどん近づいている。本当に怖いことが起きているぞ、と申し上げたい」、「戦争にいい戦争は絶対にない。戦争はすべて人殺しです。人間の一番悪いところ。二度と起こしてはならない」、「若い人たちが幸せになるような方向にあってほしい」、「最後の力を出して戦争に反対する行動を起こしたい。

国会前で抗議の座り込みをしてもいい」と語ると、大きな拍手が起きた。

療養中ながら体を張った行動に敬服するとともに、私たちが黙ってはられない。声をあげよう！



佐藤ケイ子は、あなたとともに活動し、あなたとともに声を上げ、あなたとともに汗を流し、あなたとともに政策を作る。ブログ・フェイスブックなどで情報を発信しています。

どうぞあなたの声をお寄せください。  
ブログ <http://www.sato2007.com/>



ブログはQRコードからもアクセス可能！

## 佐藤ケイ子を励ます 総決起集会

とき 8月19日(水)午後6時30分  
ところ さくらホール[中ホール]

弁士 もりこしやすお 森越康雄氏

(たつそ拓也後援会連合会会長、元日教組委員長)

弁士の森越さんは、かつては岩教組委員長、更には日教組委員長として、岩手県のみならず日本の労働運動を指導された方です。

6月28日に北上のさくらホールで行なわれた「達増氏を励ます集会」に、安倍内閣の進める『安保法制』は危険きわまりないもので、日本を戦争へ導いていく。このままでは、子どもたちを戦場へ送り出すことになる。大人の責任で、断固『安保法制』を廃案に追い込もう。とメッセージで訴えました。

### 岩手県知事選挙



労働団体が

達増拓也氏(現職)を推薦決定

知事選は、現職の達増拓也氏(民主・生活・共産支援)対 平野達男氏(自民支援)の選挙戦が予定されています。連合岩手、岩手友愛会、平和環境岩手県センターの労働3団体は、反自民の立場で達増氏を推薦決定しました。

平環センターは、憲法擁護、被災者の生活再建、自然エネルギー活用、労働政策など7項目の政策協定を締結し、岩教組や自治労等も達増氏の支援を決定しています。

社民党岩手県連合は、「自主投票」としたものの、北上選挙地区では、社民党公認の候補予定者の後援会が平野氏支援を決定し、新聞紙上で社民党の混乱が報道されました。

佐藤ケイ子は、戦争への道を止めるためには、反自民を明確にし、県知事県議選の連動した取り組みが必要だと考えます。

戦争法案に反対する多くの方々と手を携えて、自民党の暴走を食い止めるため、達増氏を支援してまいります。

岩手県の良識を全国に発信しましょう！

■ [佐藤ケイ子後援会] 入会申込み受付中です ■

TEL 0197(64)6520

メール keiko-ktkm@poppy.ocn.ne.jp